

配管にも冬支度を

ホームガス課 上田 耕也

比較的あたたかい地域でも寒さが厳しくなる1、2月頃は給水・給湯管の中の水が、寒い夜に凍結し破損事故が起こります。寒い日だからこそ使いたい、温かいお湯も使えず給湯器の中の水が凍結し、お湯が出ずに給湯器が壊れてしまうことがあります。外気温が極端に低くなる日(−15℃以下)や、それより暖かくても北側に置いた給湯器は凍結の危険性が高いです。

また、風の強い日、風の当たる場所、風が通り抜ける場所に設置してある給湯器や配管は気をつけなければいけません。

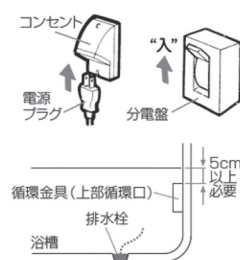
配管が凍結すると、破損・破裂などの様々な問題を引き起こします。そのようなトラブルには悩まされたくないもので、寒い季節には水道の配管や給湯器が凍結しないように対策をしておく必要があります。

そこで、今回は凍結対策について紹介します。この時期になると朝は蛇口が凍結して水やお湯が出ないという方は、ぜひとも参考にしてください。以下の方法で凍結予防を行いましょう。

①凍結ヒーターによる凍結予防

一般的に給湯器には外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータ(給湯側)が作動します。電源コンセントを入れておくだけで作動しますので、絶対に抜かないようにして下さい。

自動湯張機能や追い焚き機能が付いている給湯器が設置されている方は、給湯器本体には自動ポンプ運転装置(ふる側)が組み込まれています。浴槽の循環金具より5cm以上水がある状態にしておくと、自動的にポンプが作動し凍結予防を行います。

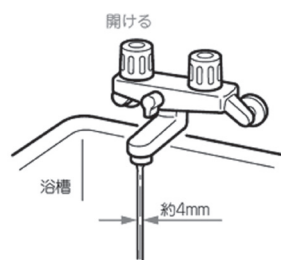


②チョロチョロ水を出しておく。

凍結対策の中で簡単にできるのは、お湯の蛇口をひねり水を出しっぱなしにすることです。

水を出しっぱなしにしておけば、水道管内部で水が氷るのを防ぐことができます。就寝前にチョロチョロ水を流しておくことで、朝に気温が氷点下になっても凍結を防ぐことが可能です。

一番お手軽な対策でおすすです。水道代が気になるという方もいるでしょうが、チョロチョロ水を出しておけばそんなにかかりません。凍結によって水道管が破損した方が、修理費によっぽどお金がかかります。そのため、水道代は気にせずに、水をチョロチョロ流しておきましょう。



③水抜きをしておく水道管の凍結対策として、定番の方法は「水抜き」です。

これは、元栓を閉めて、水道管の内部にある水を全て出し切り、水道管を空にする対策です。水道管を空にしてしまえば、水はないので凍結を防ぐことが可能です。寒い地方などでは、凍結対策として「水抜き」は欠かせないものです。

元栓を閉めたり、水を出し切ったりと少々手間はかかりますが、凍結による破損を防ぐためにも行うべきものです。

④水道管の保温も効果的な対策です。

水道管を冷やさないようにすることで、気温が氷点下になっても凍結することはありません。主に、蛇口・水道メーター・給湯器の水道管が凍りやすいです。そのような箇所は、タオルで巻いて保温する対策がおすすめです。

タオルで巻くだけでも、外気を遮断できるので、しっかりと保温できます。タオルや保温材をまいても凍結するという方は配管に電気ヒーターを設置することにより凍結予防を行うことが出来ます。

以上のような凍結予防を行っても配管が凍結してしまった場合は、不便ですが気温の上昇による自然解冻を待つか、ドライヤーなど温風を当てて解冻をして下さい。配管の損傷につながるため、お湯は絶対にかけないでください。少し工夫をすることで配管凍結を起こすリスクを軽減できます。皆様もぜひお試しください。

アポロ新聞

年に1度の決算特価!

決算フェア

スペシャル
タイムセール
開催決定!!

ガス機器、
水廻り機器の
展示も盛り沢山

ご来場記念品
ボックスティッシュ5箱

1等 任天堂スイッチ 2本

2等 伊賀路集結め合わせ 20本

3等 ホテルカレー 30本

ご来場感謝抽選会

1家族1つプレゼント
Box Time

※十分な数を用意しておりますが、万一品切れの場合はご容赦下さい。

たいやき
あげぱん
振る舞います!

わくわくイベント
開催します!!

最新コンロを使った調理実演も開催!!

お楽しみ抽選会
BINGO

2018 3/10 ± 11 日
AM10:00—PM4:00
アポロ興産内特設会場
入場無料・駐車場あり